

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度			
事業番号	34	事業名	コミュニティスクール事業		担当課		教育総務課			
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-1-1-10 地域学校協働活動事業			
			(中事業名) 地域学校協働活動事業		決算書ページ		196	~	196	一般
総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち							
	政策	2	子どもを通じて育て合い育ち合うまちづくり							
	施策	(1)	地域の子育てネットワークづくりの推進							
	その他	開始年度	令和2年度							
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性			両者と協働可		
	根拠法令等									
	関連計画	長久手市教育振興基本計画								
I 基本情報	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）					
			②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような状態に変わらるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)			
	【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 【事業内容】		【アクションプラン指標】 (2024年度まで) 地域学校協働本部設立数【累計】 (2025年度から) コミュニティスクール設置数 【その他の指標】 本部員の数		地域と連携・協働した学びの機会の増加 (成果指標名) コーディネート数		大事業共通	地域と学校が連携して、まち全体で子どもたちの成長を支えるようになる。		
	約60,000人									
	地域の力を活かし、地域一体となって魅力ある学校づくりを進めます。									

II 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名	単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ	区分	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	
		1 【アクションプラン指標】 (2024年度まで) 地域学校協働本部設立数【累計】	校	基準値 目標値	(2022) 1 2	目標値 実績	2 1	-	-	-	
		2 【アクションプラン指標】 (2025年度から) コミュニティスクール設置数	校	基準値 目標値	- 6	目標値 実績	- 2	2	4	6	
		3 【その他指標】 本部員の数	人	基準値 目標値	- -	目標値 実績	85 82	85	90	95	
										100	
		4		基準値 目標値		目標値 実績					
		事業開始の背景	・地域全体で子どもたちの成長を支えるために、地域と学校が連携・協働する体制づくりを目指し、地域学校協働本部を設立した。 ・長久手小学校区をモデル校として、地域コーディネーターを核とした体制づくりを目指す。								
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由									
		R6		・今後どのように展開していくのか方針が示せず停滞していたが、 今後コミュニティスクール（学校運営協議会）を設置する方針を決 定し、令和7年度から取り組んでいく。 ・モデル校以外の学校にも地域学校協働本部の活動を理解してもら うために説明資料を作成し、教員へ説明を行った。		R7					
		R8				R9					

III 事業の成果・課題分析 (アウトカムの詳細)	成果指標 (C H E C K)	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標															
		コーディネート数		回	R3 年度	→	R4 年度	→	【現状】 R6 年度	→	R9 年度	→	R12 年度							
		-		-					16		19		22							
		成果達成状況						指標目標値の根拠												
		B A.想定より良い B.想定どおり C.どちらともいえない D.想定を下回っている																		
	加える変化 (A C T I O N)	評価の理由、分析						・新しく連携して実施した事業もあり、回数は増加傾向にある。 ・地域と連携した事業が月に2回程度開催できるよう、毎年1回ずつ増加させる。												
		今後の方向性		今後の方向性の理由																
		A A.拡充 B.現状維持 C.縮小 D.廃止		・地域コーディネーターを核として、新たな地域人材の発掘を積極的に行い、学校と地域の協働を活性化する。 ・今後、コミュニティスクールの設置に向けて取り組む。																
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)																		
		見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度								
		1 地域学校協働活動事業	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	・今後、コミュニティスクールの設置に向けて取り組み、令和7年度中に長久手小学校ともう1小学校に設置する。								R 7								
		2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止																	
		3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止																	

